

バリアフリー整備・徴収計画

鉄軌道事業者名	小田急電鉄株式会社
---------	-----------

整備方針	
全期間	・新宿～本厚木間、中央林間、大和、藤沢におけるホームドア整備 ・ホームと車両の段差隙間縮小に資する設備の整備 ・エレベーター、エスカレーター等の更新および維持管理
2022～2025年度	・新宿～本厚木間、中央林間、大和におけるホームドア整備 ・ホームと車両の段差隙間縮小に資する設備の整備 ・エレベーター、エスカレーター等の更新および維持管理
2026～2032年度	・新宿～本厚木間、藤沢におけるホームドア整備 ・ホームと車両の段差隙間縮小に資する設備の整備 ・エレベーター、エスカレーター等の更新および維持管理

料金額				
券種	定期外		定期券	
	普通券 (磁気券)	普通券 (IC)	通勤定期券	通学定期券
設定額(円)	10	10	※1	0
年間徴収額 (百万円)	2,397(※2)		2,366	0
料金徴収 対象駅	全70駅			
備考	※1：1ヵ月600円、3ヵ月1,710円、6ヵ月3,240円 ※2：小児IC利用は転嫁しない(全線一律50円) 小児普通券利用は転嫁後の大人の金額の半額とする(10円未満切り上げ) 団体乗車券、各種回数券を含む			

※普通券の設定額については、大人1乗車当たりの料金を記載すること。

※定期券の設定額については、全ての定期券料金から算出した1乗車当たりの平均額を記載し、備考欄に各期間別(1ヵ月・3ヵ月・6ヵ月など)の料金を記載すること。

※回数券や企画乗車券などの券種から徴収する場合は、備考欄に該当する券種名を記載するとともに、定期外の年間徴収額に該当する券種からの年間徴収額も含めて記載すること。

年間徴収額	4,763	百万円
徴収期間	10	年間(2023.3～2033.3) ※2033年4月以降の継続について検討予定
総徴収額	47,628	百万円
総整備費	62,746	百万円
	2022～2025年度の計画：22,401百万円 2026～2032年度の計画：40,345百万円 ※2033年4月以降の継続について検討予定	

バリアフリー整備・徴収計画（計画期間：2022.4～2026.3）

整備内容			
(1) 設置・改良費（附帯費用含む）			
設備名	整備数		整備費
ホームドア	11 駅	32 番線	17,353 百万円
段差隙間縮小に資する設備 ※1	16 駅	45 番線	百万円
備考	※1 段差隙間縮小に資する設備に関する費用はホームドア整備費に含む		
(2) 更新費（附帯費用含む）			
① 設備更新			
設備名	整備数		整備費
ホームドア ※2	6 駅	14 番線	200 百万円
エレベーター	4 駅	7 基	356 百万円
エスカレーター	3 駅	5 基	298 百万円
その他 ※3	各 駅		966 百万円
備考	※2 ホームドアの開閉制御機器の更新 ※3 運行情報提供設備等		
② 車両更新			
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）			
維持管理費（附帯費用含む）	3,016		百万円
収受システム改修費	109		百万円
その他費用 （駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）	103		百万円
備考			

※整備数：計画期間内に供用開始する設備の数

※整備費：計画期間内に整備する設備の費用（計画期間内に供用開始しない設備の費用も含む。）

計画期間内の整備費（（1）～（3）の合計）	22,401 百万円
-----------------------	------------

計画期間内の料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数			
ホームドア設置番線数	32		番線
段差解消駅数	一経路確保駅	0	駅
	二経路以上確保駅	0	駅

バリアフリー整備・徴収計画（計画期間：2026.4～2033.3）

整備内容			
(1) 設置・改良費（附帯費用含む）			
設備名	整備数		整備費
ホームドア	19 駅	53 番線	27,790 百万円
段差隙間縮小に資する設備 ※1	19 駅	51 番線	百万円
備考	※1 段差隙間縮小に資する設備に関する費用はホームドア整備費に含む		
(2) 更新費（附帯費用含む）			
① 設備更新			
設備名	整備数		整備費
ホームドア ※2	1 駅	2 番線	433 百万円
エレベーター	15 駅	35 基	1,742 百万円
エスカレーター	10 駅	28 基	1,094 百万円
その他 ※3	各	駅	1,690 百万円
備考	※2 ホームドアの開閉制御機器の更新 ※3 運行情報提供設備等		
② 車両更新			
(3) 維持管理費・収受システム改修費・その他費用（駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）			
維持管理費（附帯費用含む）	7,570		百万円
収受システム改修費	0		百万円
その他費用 （駅務機器改修費・駅頭表示改修費など）	26		百万円
備考	※ 2033年度以降の本制度活用の継続について検討予定のため、本制度終了時に必要となる収受システム改修費及びその他費用については、本様式には計上していない。		

※整備数：計画期間内に供用開始する設備の数

※整備費：計画期間内に整備する設備の費用（計画期間内に供用開始しない設備の費用も含む。）

計画期間内の整備費（（1）～（3）の合計）	40,345 百万円
-----------------------	------------

計画期間内の料金徴収によるホームドア設置番線数・段差解消駅数			
ホームドア設置番線数	53		番線
段差解消駅数	一経路確保駅	0	駅
	二経路以上確保駅	0	駅